

令和元年10月生まれ

おめでとう1さい

応募方法

誕生日の3カ月前の1カ月間、電話または市ホームページで受け付けています。
(例) 誕生日が令和2年1月の人、10月に応募してください。
経営企画課広聴広報係
☎(921)2121(内線514)
URL <http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/soshiki/somu/204/379/575/10459.html>



12日 合志 美優ちゃん



24日 原 美岬ちゃん



23日 江田 詩麻ちゃん



19日 菊次 紀希ちゃん



30日 村田 瑠杏ちゃん



3日 井上 颯ちゃん



23日 仲田 旺仙ちゃん



にこにこ通信



「メディアとのつきあいかた」



現在テレビ、DVD、ゲーム、パソコン、スマホなどの電子機器を、情報技術の発達により家庭で手軽に使用することができますが、日本小児科医会から「2歳まではできるだけ見せないようにしましょう」という提言があるのをご存じですか。

子どもをあやすために安易に使うのではなく、子どもに与える影響を考えてみましょう。特に言葉を使えない赤ちゃんは、泣いたりぐずったりすることで、「お腹がすいた」「おしっこが出た」「眠たい」「暑い」「寒い」などの生理的欲求や「抱っこして」「遊んで」などの情緒的欲求を訴えます。なぜ泣いているのかわからない時に、子育てアプリを見せるのではなく、「どうしたの」「眠たくなったかな」などの声かけや抱っこなどを繰り返すことで親子の絆ができていきます。そして、乳幼児期は視力が発達する重要な時期です。テレビやDVD、特にスマホやタブレットなどの小さい平面画面を見る時間が長いと視力の発達を妨げます。また、電子機器から発せられる光はとても刺激が強いため、発育にとても影響を与えます。授乳中はテレビを消し、スマホも置いて、ゆったりとした気持ちで赤ちゃんに向き合しましょう。目と目を合わせて話しかけてあげることで、赤ちゃんの安心感と親子の愛着が育まれます。



子どもがテレビやDVDを長時間見ている様子は集中力があるように見えますが、テレビなどの強い刺激がないといろいろなことに関心を持たなくなり、逆に活動に集中力がなくなっていきます。しかし、今の情報社会の現代では、全くテレビなどを見せないということはなかなか難しいと思いますので、時間を決めたり、見せる時間帯を考えたりしましょう。

食事中や子どもが集中して遊んでいるときはテレビなどを消し、家族の会話や団らんの時間にしてコミュニケーションを取っていきましょう。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、外出を自粛し家にいる時間が増えてメディアに頼らなければならない時もあると思います。難しいことかもしれませんが、親子でメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

元気づくり課 子育て支援センター ☎(919)6001